

TOTO

台付シングル混合水栓 (ハンドシャワータイプ)

TKS05305JV3型
TKS05305ZV3型
TKS05308JV4型
TKS05308ZV4型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1-1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)


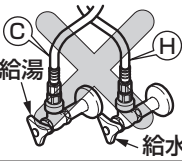


取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。



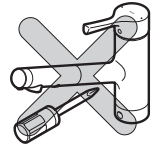

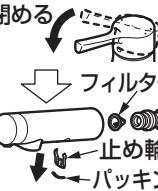
- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



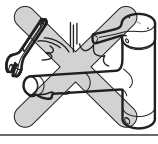

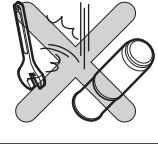
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



 禁止	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
 強制	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

 警告	
湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
給湯温度は85℃より高温で使用しない 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けない 水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

 警告		
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
 必ず実行	フィルターの掃除をする際は、レバーハンドルを閉めてから、止め輪を外す また、フィルター部が熱くないことを確認する 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	

 注意		
 禁止	強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
	浄水タイプ 給湯温度は60℃より高温で使用しない 60℃より高温でご使用になると、浄水カートリッジの破損により浄水性能を維持できなくなるおそれがあります。	
	浄水タイプ 浄水カートリッジを落としたり、浄水カートリッジに強い力や衝撃を与えない 浄水カートリッジが破損・変形し、十分な性能を発揮できなくなります。	

1-2.

⚠ 注 意	
 禁 止	<p>吐水口に汚れた手で触れたり、ハンドシャワーを水中に没するような使いかたはしない</p> <p>吐水口部に一般細菌が増えやすくなり、体調を損なうおそれがあります。</p>
 必ず実行	<p>水道水および飲用可能な井戸水を使用する</p> <p>故障や水漏れの原因となります。 また、体調を損なうおそれがあります。</p>
	<p>凍結が予想される場所で使用する場合は、配管部などに保温材を巻く</p> <p>また、寒冷地用の場合は、8. 寒冷地用の水抜き方法を参照し、凍結予防を確実にを行う</p> <p>部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。</p>

2. 仕様

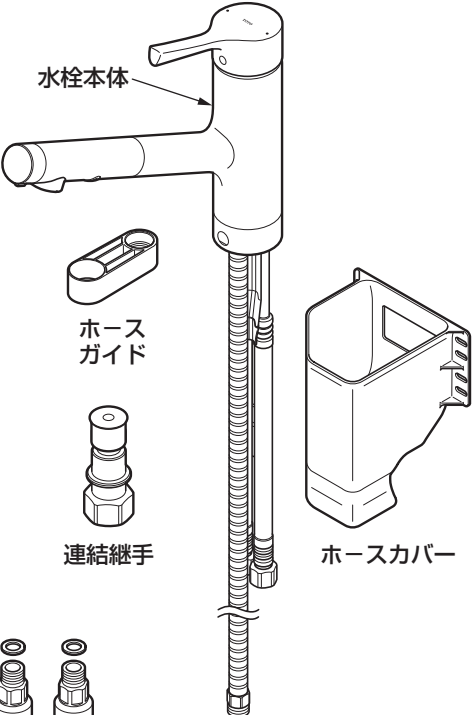
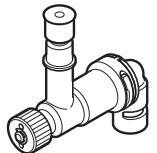
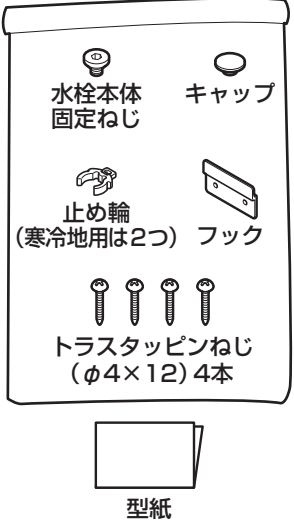
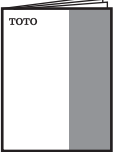

		ハンドシャワータイプ	浄水ハンドシャワータイプ
給水・給湯 圧力	最低必要水圧(流動時)	0.05MPa	0.07MPa
	最高水圧(静止時)	0.75MPa	
使用最高温度		85℃以下	60℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	一般地用	1~40℃	
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)	
用 途		一般住宅台所用	

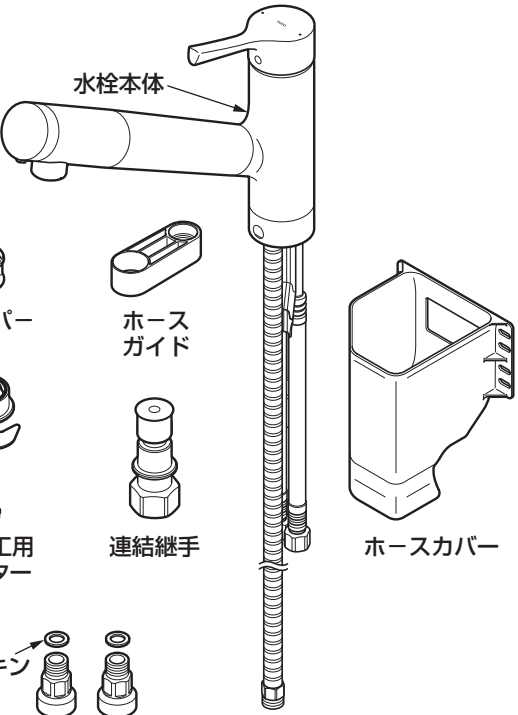
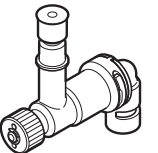
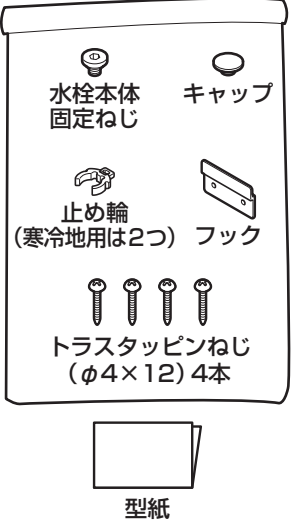

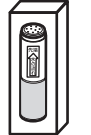

3. 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 瞬間式給湯機の場合、給湯機的能力・水圧などの条件により、給湯機が着火しないことがあります。
- 浄水カートリッジ保護のため、給湯温度は60℃以下に設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。キッチンの給水配管要領に従ってください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。(ただし、浄水カートリッジは未通水)

4. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

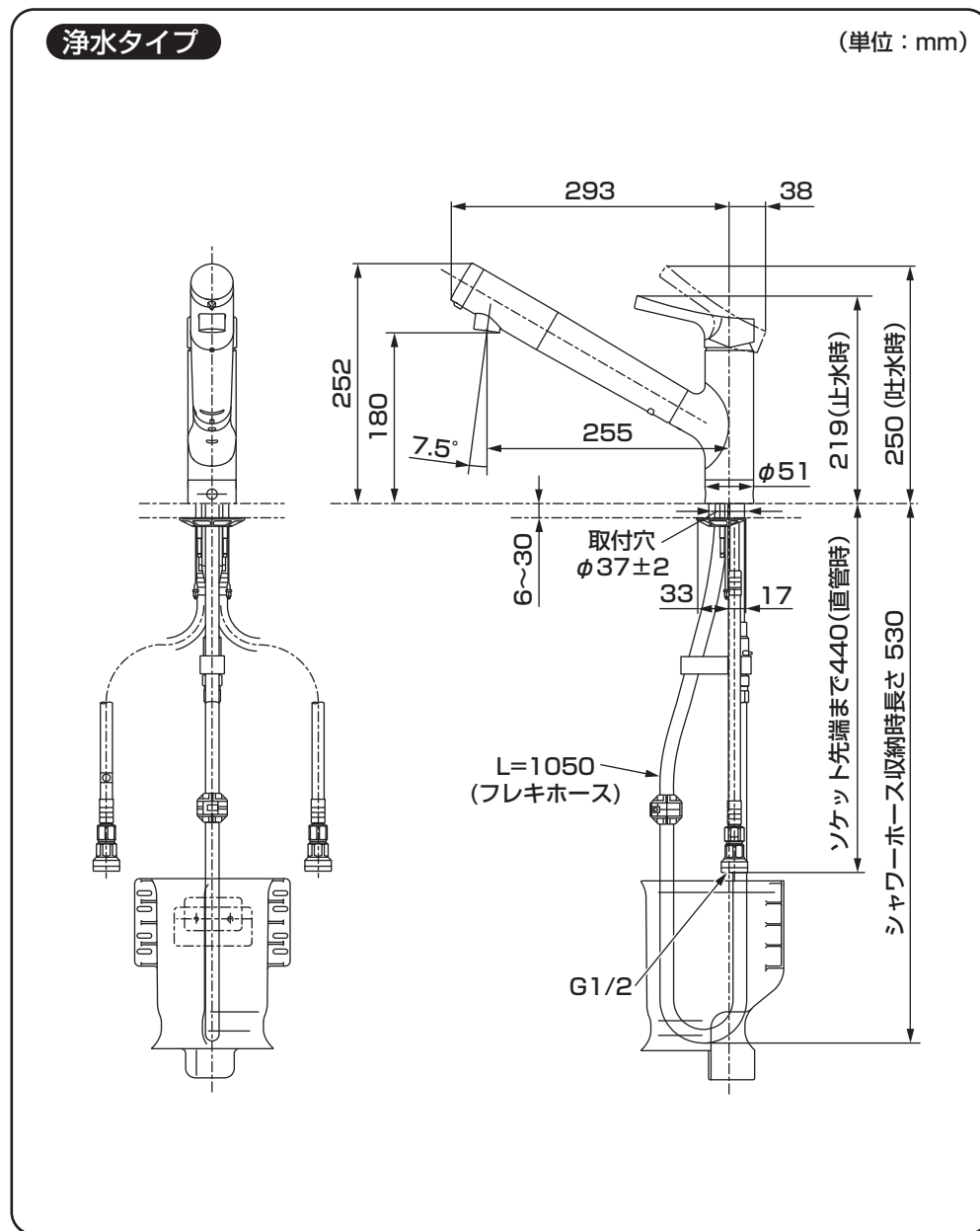
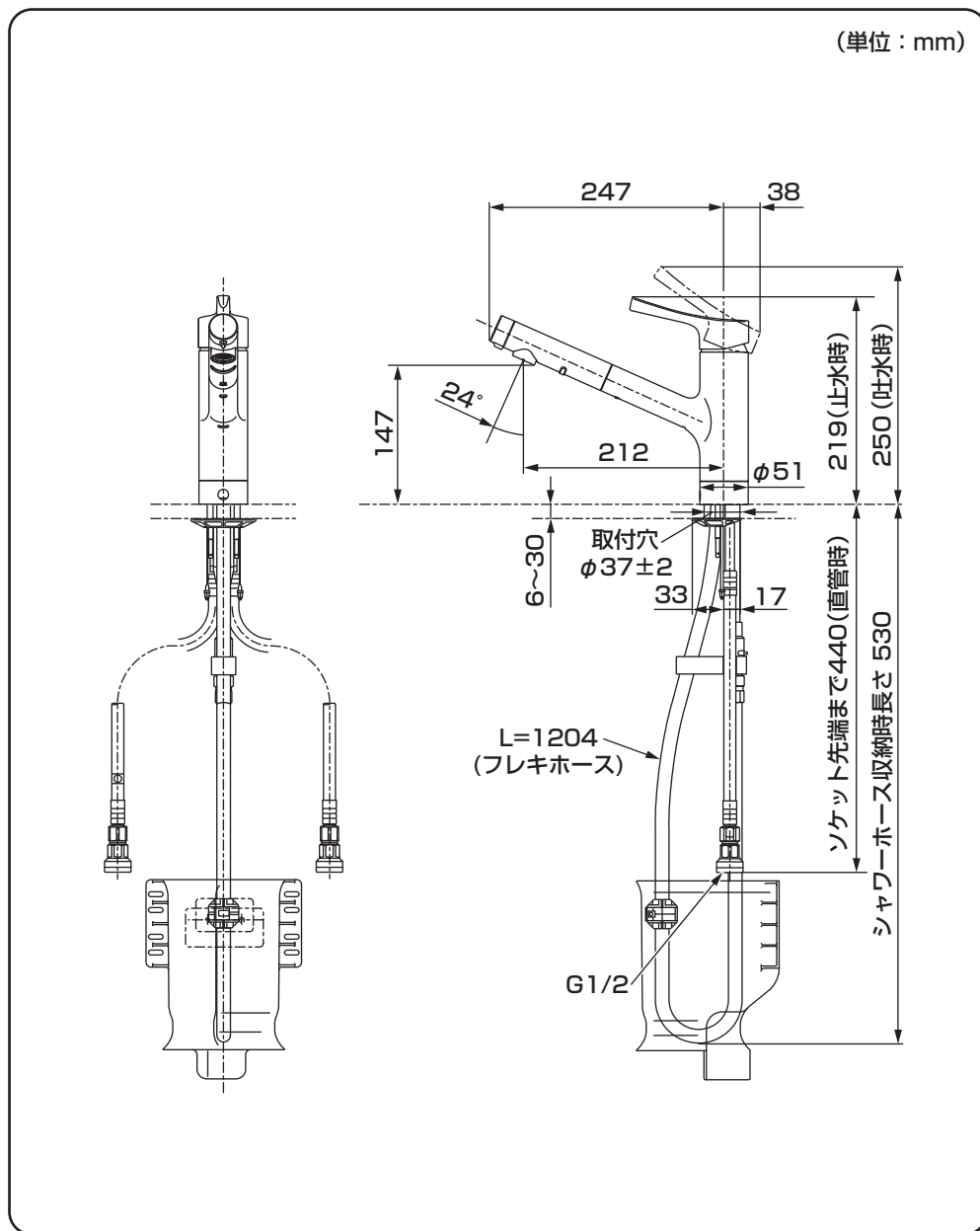
ハンドシャワータイプ	
水栓本体部	その他
 <p>水栓本体</p> <p>ストッパー</p> <p>ホースガイド</p> <p>上面施工用アダプター</p> <p>連結継手</p> <p>ホースカバー</p> <p>パッキン(青)</p> <p>ソケット (一般地用のみ逆止弁付き)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>寒冷地用</p>  <p>水抜コック</p> </div>	 <p>水栓本体固定ねじ</p> <p>キャップ</p> <p>止め輪 (寒冷地用は2つ)</p> <p>フック</p> <p>トラスタッピンねじ ($\phi 4 \times 12$) 4本</p> <p>型紙</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>取扱説明書</p>  <p>六角棒レンチ (対辺4mm)</p> </div>

浄水ハンドシャワータイプ	
水栓本体部	その他
 <p>水栓本体</p> <p>ストッパー</p> <p>ホースガイド</p> <p>上面施工用アダプター</p> <p>連結継手</p> <p>ホースカバー</p> <p>パッキン(青)</p> <p>ソケット (一般地用のみ逆止弁付き)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>寒冷地用</p>  <p>水抜コック</p> </div>	 <p>水栓本体固定ねじ</p> <p>キャップ</p> <p>止め輪 (寒冷地用は2つ)</p> <p>フック</p> <p>トラスタッピンねじ ($\phi 4 \times 12$) 4本</p> <p>型紙</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>必ずお客様にお渡しください</p> <p>取扱説明書</p>  <p>注文書</p>  <p>浄水カートリッジ(箱入り)</p>  <p>六角棒レンチ (対辺4mm)</p> </div>

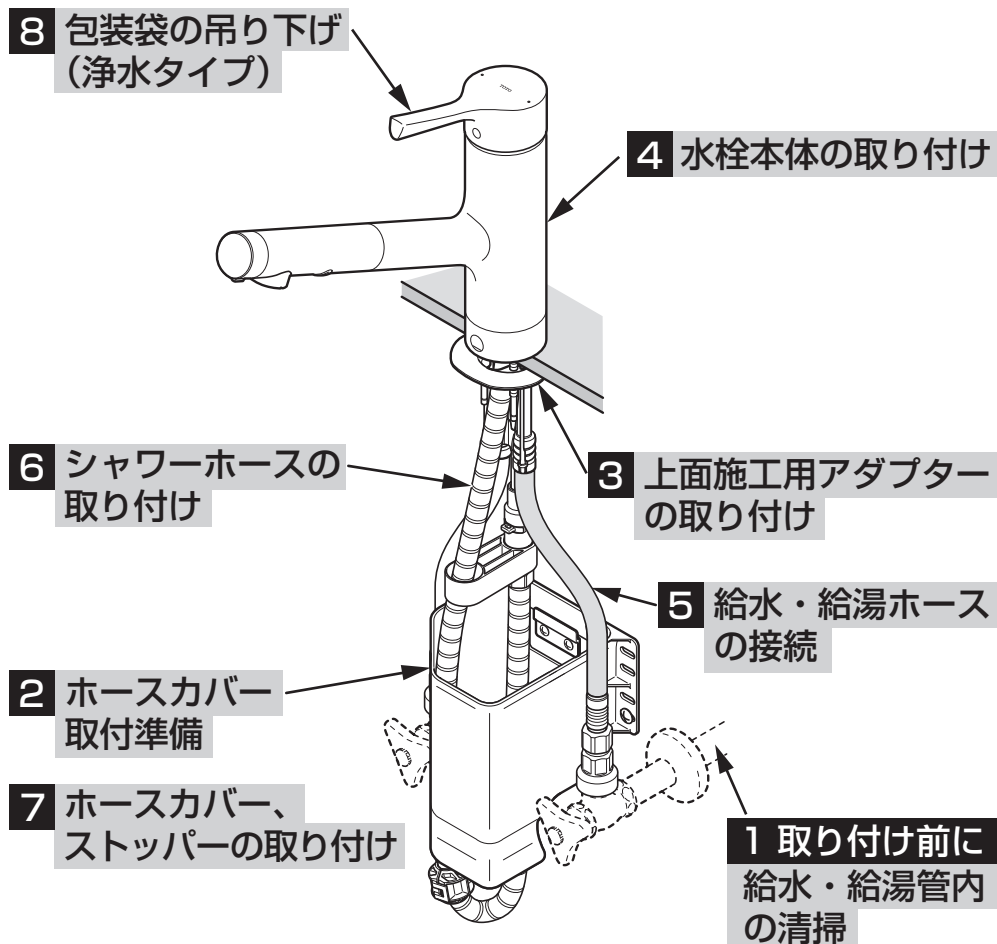
※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

5. 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1. 施工手順



1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

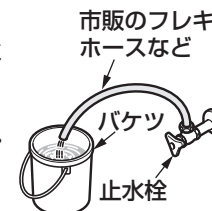
止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に
必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

注意

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターや吐水口に詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
 - ②温度調節がうまくできない
- 給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



重要

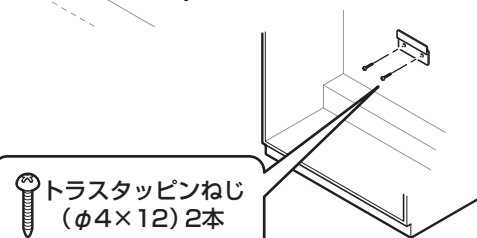
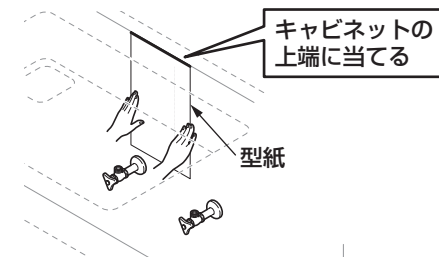
2 ホースカバー取付準備

- ①付属の型紙をキャビネットの裏板にあて、4カ所に下穴φ2mmをあける。

型紙のセンターラインを水栓本体の中心にあわせて位置決めしてください。

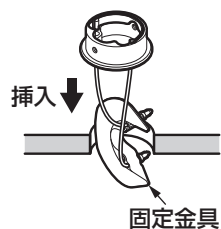
- ②中心側2カ所の下穴にあわせて、フックを取り付ける。

- ※電動ドライバーは使用しないでください。
- ※ホースカバー自体の取り付けは水栓本体取り付け後になります。

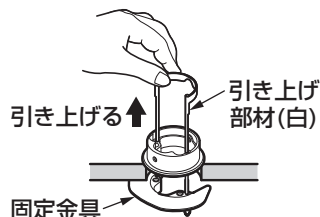


3 上面施工用アダプターの取り付け

①ボルト・座金(2本)を外して固定金具を取付穴に挿入する。

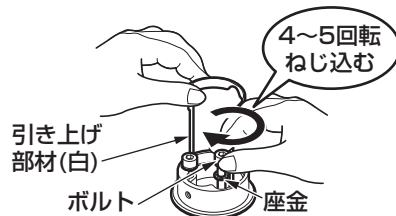


②上面施工用アダプターの方向をあわせ、固定金具が当たるまで引き上げ部材(白)を引き上げる。

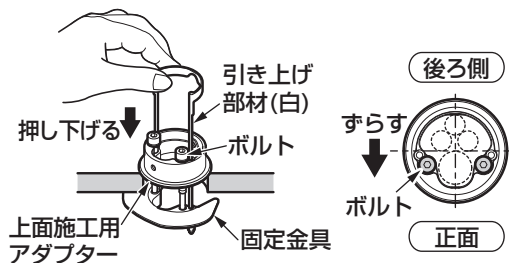


③引き上げ部材(白)を引き上げたまま、ボルト・座金(2本)を固定金具に通し、手締めで4~5回転ねじ込む。

位置調整のため、最後までねじ込まないでください。



④引き上げ部材(白)・ボルト・座金(2本)を押し下げ、上面施工用アダプターをボルトの方向に当たるまでずらす。



重要

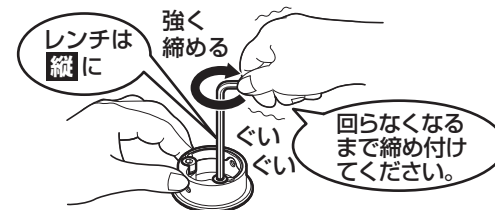
後ろ側

正面

カウンター

カウンターが見える状態で上面施工用アダプターを固定しないでください。
本体挿入時、はみ出したカウンターなどでホースを傷つけ、水漏れが発生する可能性があります。

⑤ボルトに六角棒レンチを縦に差し込み、2本のボルトを交互に強く締め付ける。



⑥さらに六角棒レンチを横にして2本のボルトを交互にしっかり締め付け、確実に固定する。



注意

2本のボルトがどちらも回らなくなるまで締め付けてください。

上面施工用アダプター施工上の注意点

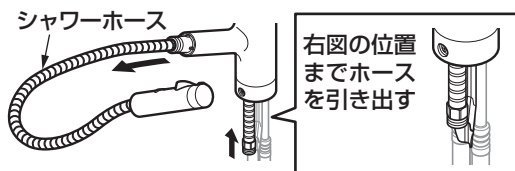
- 上面施工用アダプターは、正しく取り付けてください。カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は固めの補強板(合板など)を取り付けてください。
- 補強板が十分乾燥した状態で取り付けてください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気をふき取りドライヤーで乾かしてください。
- 取付面に養生シートなどがあれば取り除いてください。
- 取付可能なカウンター穴径はφ35~φ39です。

4 水栓本体の取り付け

- ①シャワーホースの先端が右図の位置まで引き出す。

注意

シャワーホースを無理に引っ張らないでください。



- ②給水ホースなどを上面施工用アダプターに通す。

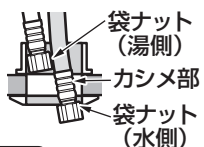
【通す順番】

- ①給水ホース ②給湯ホース ③連結管

ポイント

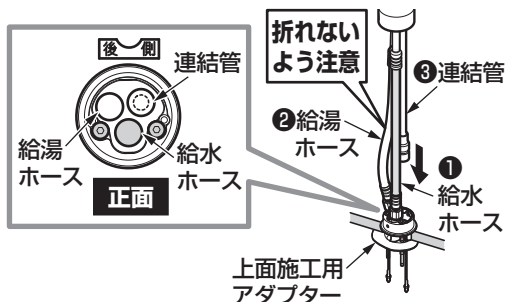
先に給水ホースを通し、給水ホースのカシメ部と給湯ホースの袋ナットが重ならないように通す。

本体を斜めに傾けながら給湯ホースを挿入するとスムーズに入ります。

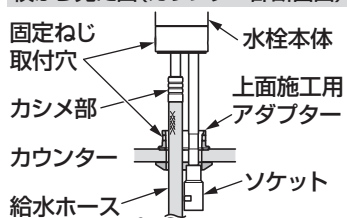


注意

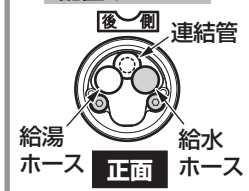
ホースを上面施工用アダプターに通す際は、折れないように注意してください。折れると十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。



横から見た図(カウンター部断面図)

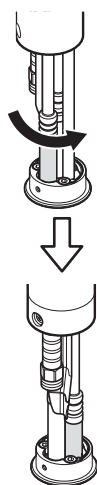


配置イメージ



- ③カシメ部が上面施工用アダプターの上にくるまで水栓本体を差し込む。

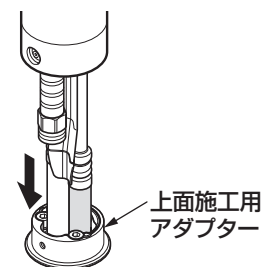
- ④連結管が後ろ側になるよう(右の配置イメージ)水栓本体を回転させる。



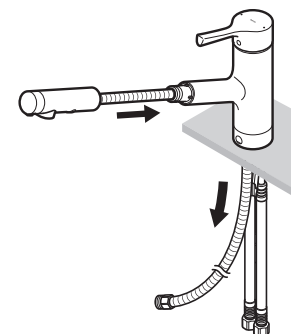
- ⑤水栓本体を上面施工用アダプターに完全に差し込む。

注意

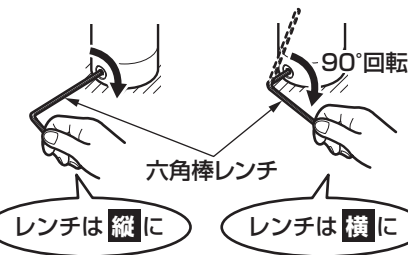
- 水栓本体に浮きがないよう注意してください。
- 差し込みにくい場合は水栓本体を左右に軽くゆすりながら入れてください。



- ⑥シャワーホースを収納する。



- ⑦水栓本体固定ねじを取り付け、六角棒レンチの縦方向で、回らなくなるまで締め付ける。



- ⑧六角棒レンチの横方向で約90°回して、確実に締め付ける。

注意

80mm以上のレンチを使用しないでください。(ねじ部が破損するおそれがあります)

- ⑨切り欠き(大)を下にして、穴にキャップを押し込む。



5 給水・給湯ホースの接続

- ①ソケットを止水栓に固定する。
- ②銅管部を広げ、ホースとソケットを接続しやすくする。

注意

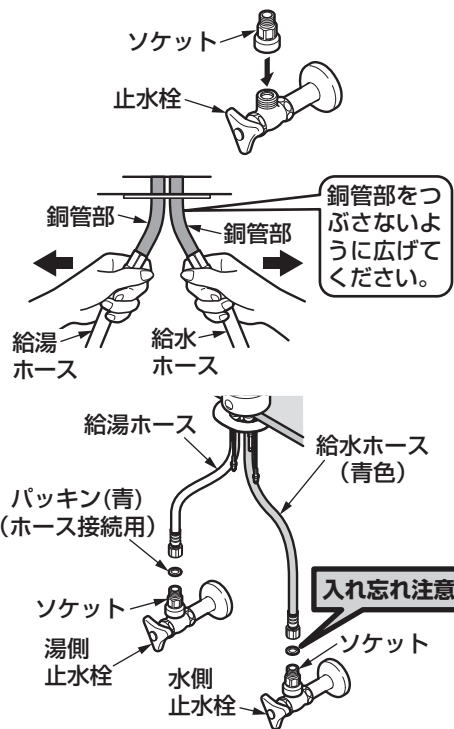
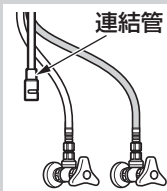
銅管部をつぶさないように注意してください。

- ③給水・給湯ホースをソケットに接続する。

注意

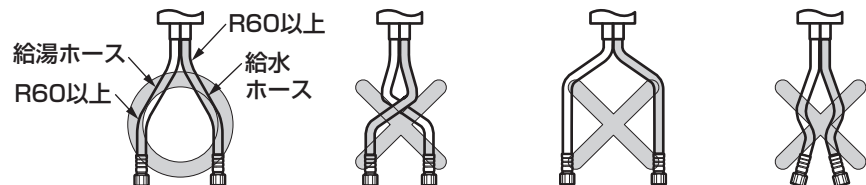
●給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●止水栓偏心タイプの場合、連結管の後ろに給水・給湯ホースを取り回してください。



給水・給湯ホース施工上の注意点

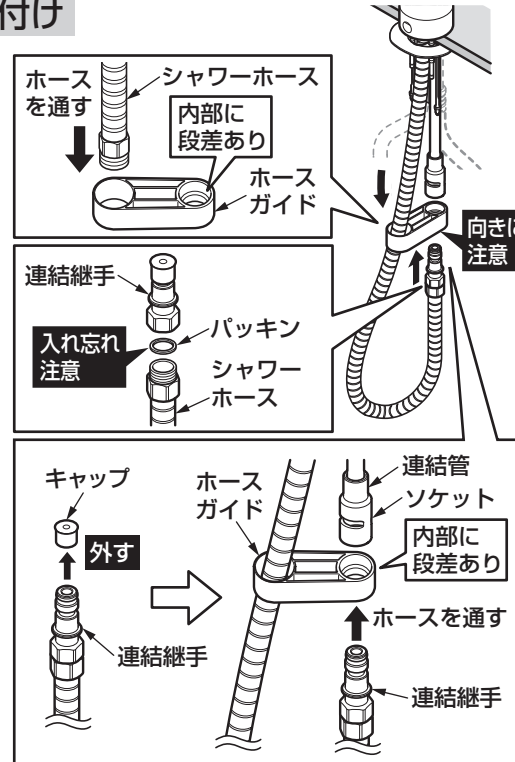
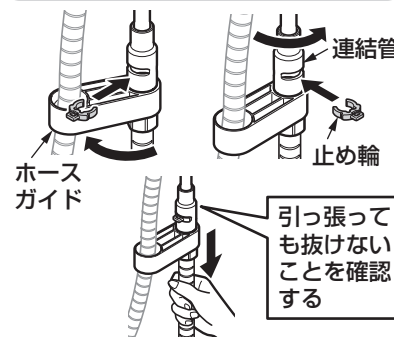
- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。



6-1 シャワーホースの取り付け

- ①シャワーホースをホースガイドの穴に通す。
- ②シャワーホースを連結継手に接続する。
- ③連結継手についているキャップを取り外して、ホースガイドの穴に通し、連結管のソケットに差し込む。
- ④止め輪を連結管に差し込み、シャワーホースを引っ張って抜けを確認する。

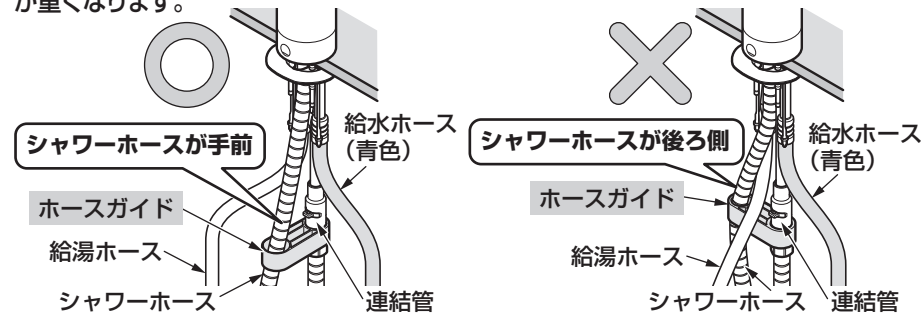
ソケットの向きは連結管を回転させて施工しやすい位置に調整してください。



ホースガイド施工上の注意点

重要

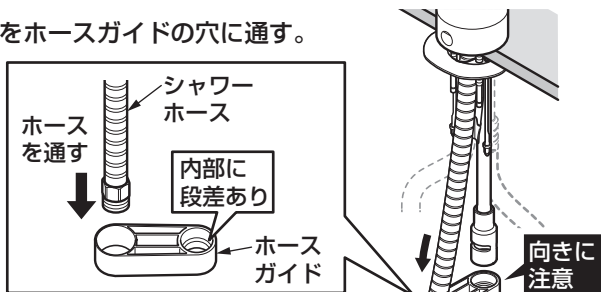
シャワーホースが給水・給湯ホースの手前にくるように取り付けてください。シャワーホースが給水・給湯ホースの後ろになると、シャワーホースの引き出しが重くなります。



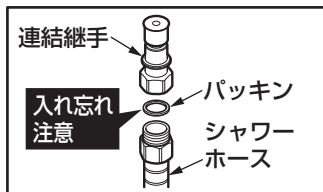
6-2 シャワーホースの取り付け (つづき)

寒冷地用の場合

① シャワーホースをホースガイドの穴に通す。

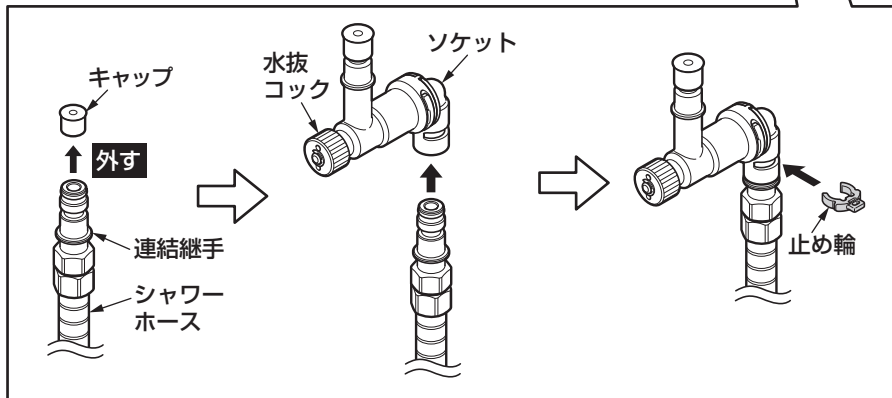


② シャワーホースを連結継手に接続する。

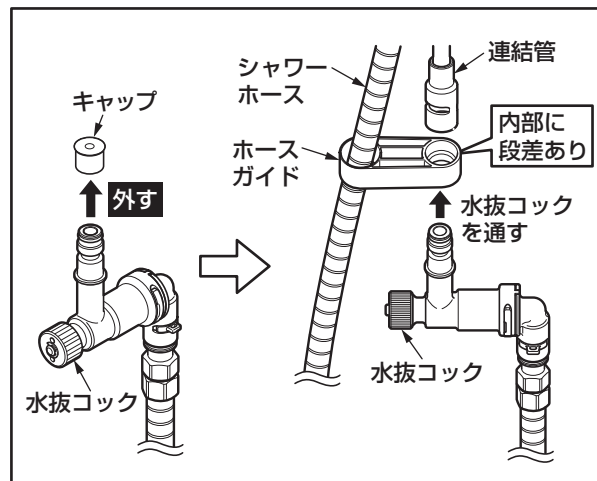


③ 連結継手に付いているキャップを取り外して、水抜コックのソケットに差し込む。

④ 水抜コックのソケットの穴に止め輪を差し込む。

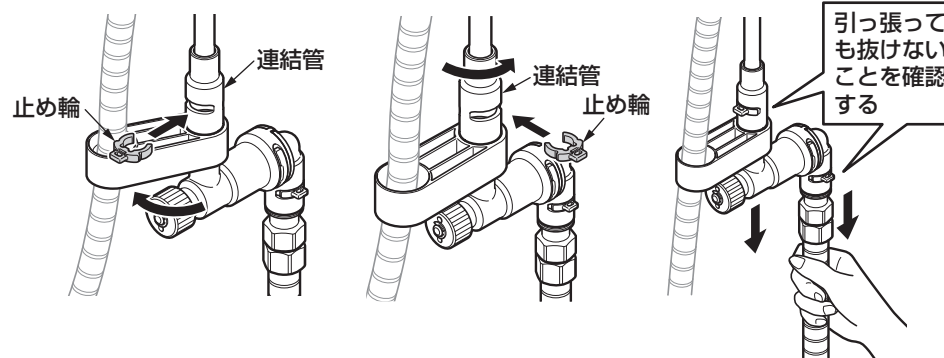


⑤ 水抜コックのキャップを外し、ホースガイドに通し、連結管のソケットに差し込む。



⑥ 連結管のソケットの穴に止め輪を差し込み、引っ張っても抜けないことを確認する。

ソケットの向きは連結管を回転させて施工しやすい位置に調整してください。



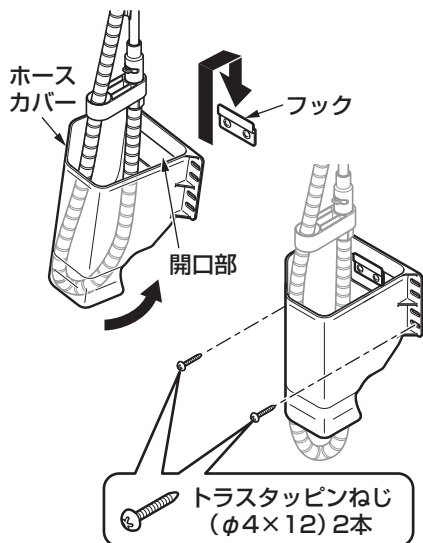
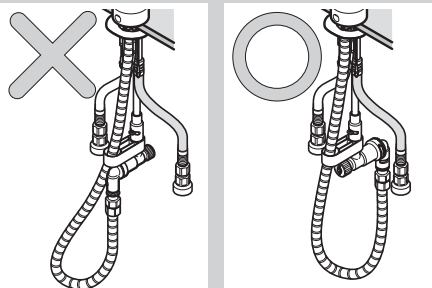
7 ホースカバー、ストッパーの取り付け

- ①ホースカバー裏側の開口部をフックに引っかけ、外側2カ所をねじで固定する。
(電動ドライバーは使用しないでください)

注意

寒冷地用の場合

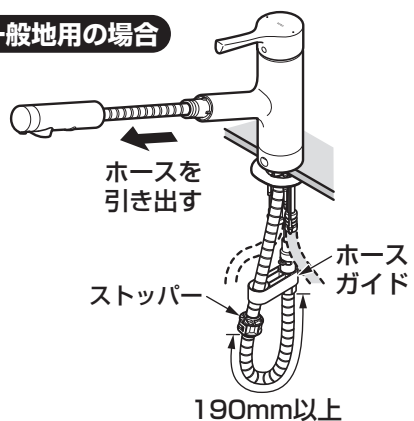
シャワーホース、水抜コックの向きに注意してください。水抜コックが前を向くように向きをあわせてください。



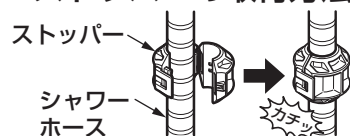
- ②ストッパーを右図の要領でシャワーホースに取り付ける。

※シャワーホースを引き出した状態(ストッパーがホースガイドに接触するまで)でシャワーホースにゆとりがないときは、ストッパーを適当な位置にずらしてください。

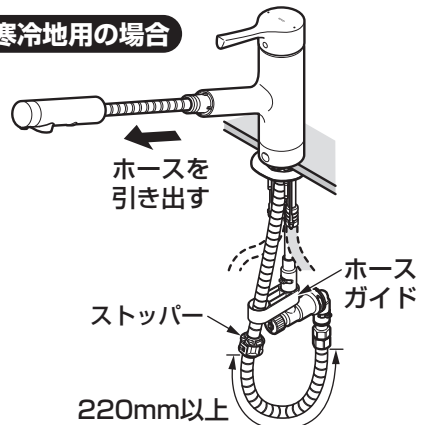
一般地用の場合



<ストッパーの取付方法>



寒冷地用の場合

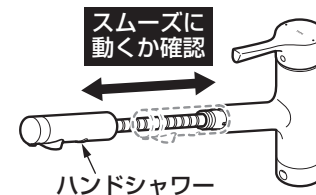


取り付け後の確認と注意事項

ハンドシャワーを引き出し、シャワーホースがスムーズに動くか確認してください。

シャワーホースがスムーズに動かない場合は、下記の内容を確認してください。

- 給水・給湯ホースがシャワーホースを押さえ込んでいないか。
- シャワーホースがねじれていないか。
- ホースガイド・ホースカバーが正しく取り付けられているか。
- ホースカバー・水受けトレイと、キャビネットの引き出しが干渉していないか。



連結管(銅管)は曲げないでください。

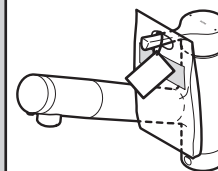
8 包装袋の吊り下げ(浄水タイプ)

浄水カートリッジが入ったビニール袋を水栓のレバーハンドルに引っかける。

注意

施工時には浄水カートリッジを取り付けしないでください。

実際に水栓を使うお客様に取り付けていただきます。施工時に浄水カートリッジを取り付けて通水確認すると、お客様への引き渡しまで浄水カートリッジに水が滞留しますので、一般細菌の繁殖など、浄水カートリッジの性能を損なうおそれがあります。



7-1. 施工後の調節

1. 水出し確認

注意

浄水タイプの場合は、浄水カートリッジを取り付けずに行ってください。

- ① 取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開ける。
- ② レバーハンドルを上げ下げし、水の出し止めができることを確認する。また、ホース接続部やすき間などから水漏れがないことを確認する。
- ③ レバーハンドルを左右に回し、温度調節ができることを確認する。

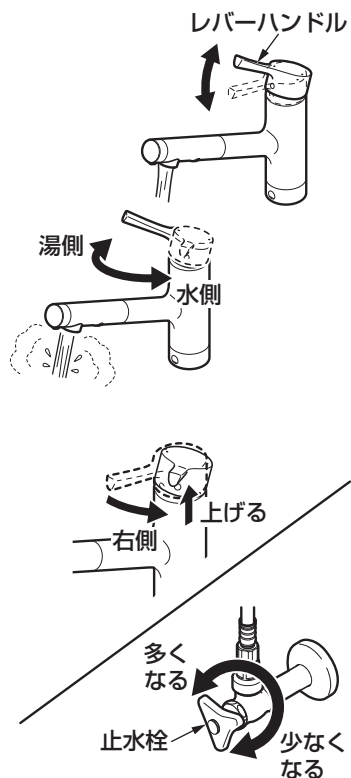
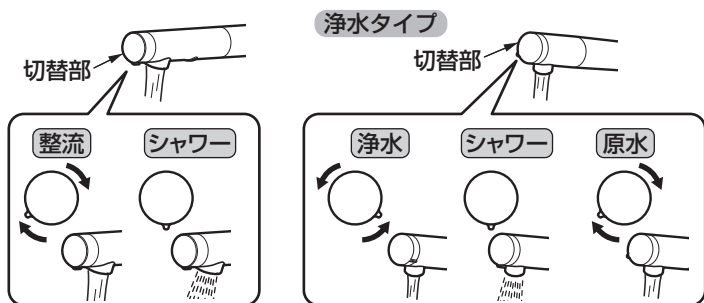
止水栓による流量調節

- ① レバーハンドルを右側（水側）いっぱい回す。
- ② レバーハンドルを上いっぱい上げ、全開とする。
切替部を回して整流（原水）吐水にしてください。
- ③ 流量が7L/分程度（目盛りのついた計量カップなどで500mlが約4秒）になるように水側止水栓で調節する。
給水圧力・給湯圧力が低い場合は、止水栓を全開にしても流量が7L/分にならないことがあります。
- ④ レバーハンドルを左側（湯側）いっぱいとし、③と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

吐水切り替えの確認

切替部を操作し、水流が切り替わることを確認する。

吐水切り替えタイプ



2. 吐水口およびフィルターの掃除

水出し確認後は必ず吐水口およびフィルターを掃除してください。

吐水口およびフィルターが詰まると流量が少なくなったり、温度調節がうまくできなくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

※吐水口およびフィルターを掃除する際は、必ずレバーハンドルを閉めてから行ってください。また、シャワーホースが熱くないことを確認してください。（詳しくは取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください）

掃除が完了したあとは、接続部から水漏れがないことを確認してください。

吐水口の掃除

シャワーホースを引き出して、横や上向きにすることで、作業が行いやすくなります。

- ① 平板形状の物（バターナイフなど）を吐水口の溝に差し込み、回して外す。

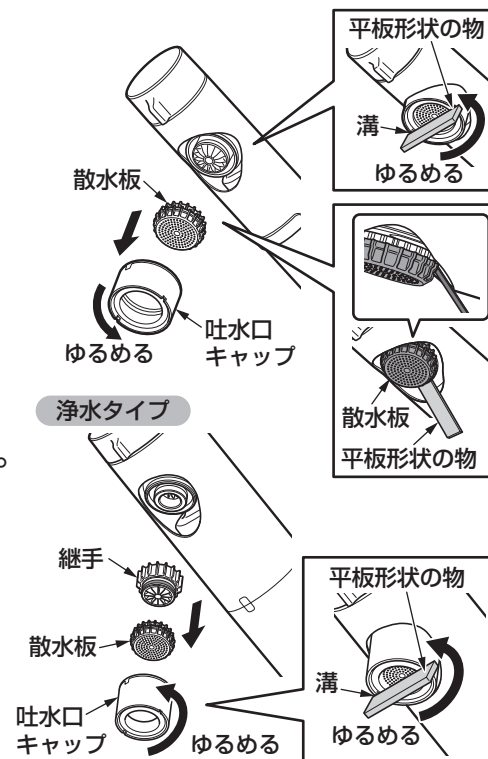
散水板を傷つけないように注意してください。

- ② 平板形状の物を散水板に引っかけて取り外す。

浄水タイプの場合

散水板・継手を取り外す。

平板形状の物がなくても取り外し可能です。



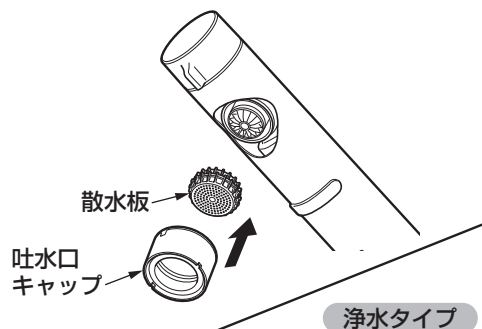
- ③ 散水板に詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。



- ④ 掃除が終わったら散水板を取り付ける。

浄水タイプの場合

掃除が終わったら継手・散水板を取り付ける。



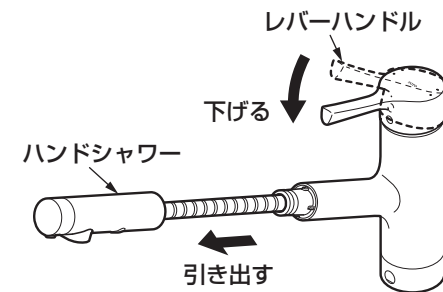
- ⑤ 吐水口キャップを取り付ける。



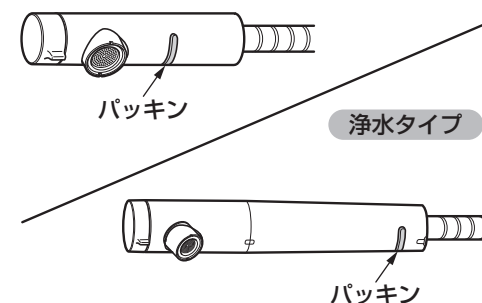
フィルターの掃除

- ① レバーハンドルを下げる。

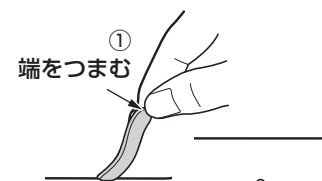
- ② ハンドシャワーを引き出す。



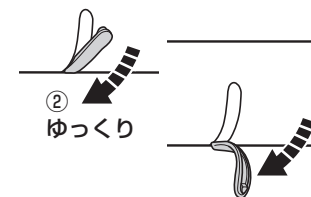
- ③ パッキンを取り外す。



- ① 指先でパッキンの端をつまむ。



- ② 矢印の方向にゆっくりとパッキンを引っ張る。



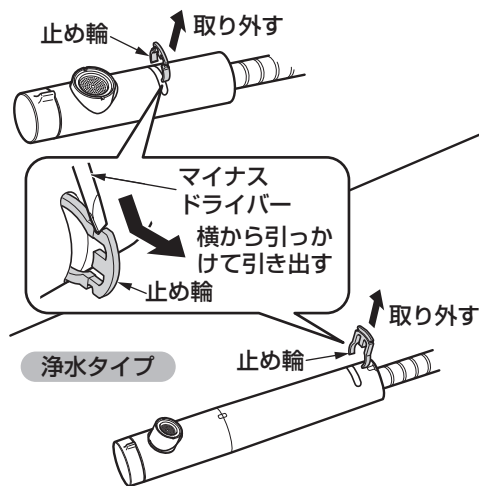
- ③ パッキンの端が外れたらそのまま矢印方向に引っ張り取り外す。

- ③ 取り外す

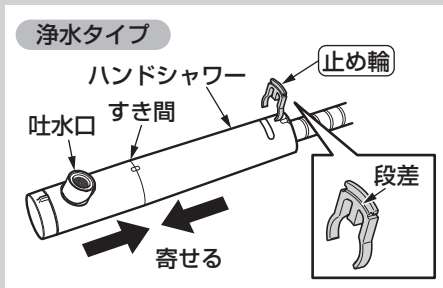
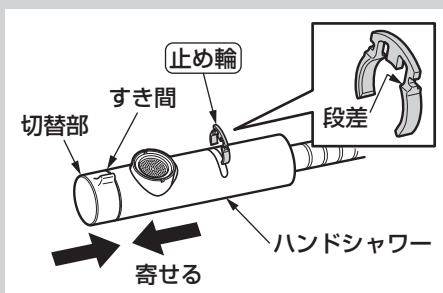
取り外したパッキンを紛失しないように注意してください。

④ マイナスドライバーなどで止め輪を取り外す。

めっき表面を傷つけないように注意してください。

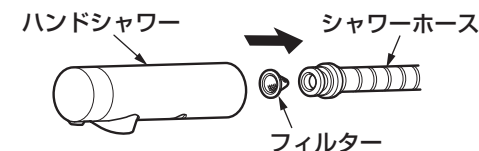


ハンドシャワーにすき間があると、止め輪の段差が引っかかり止め輪が外れにくいことがあります。ハンドシャワーを矢印の方向に寄せて「すき間」をなくすと止め輪は外れやすくなります。



⑤ シャワーホースを抜き、先端に付いているフィルターを取り出す。

フィルターを落としてなくさないように注意してください。

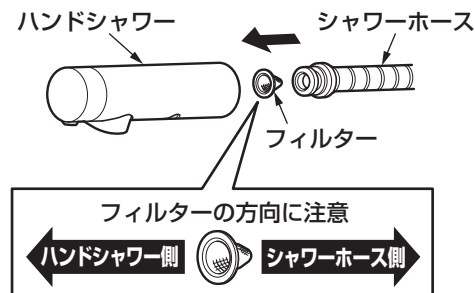


⑥ フィルターに詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。



⑦ 掃除が終わったらフィルターをシャワーホースの先端に戻し、シャワーホースをハンドシャワーの奥に当たるまで差し込む。

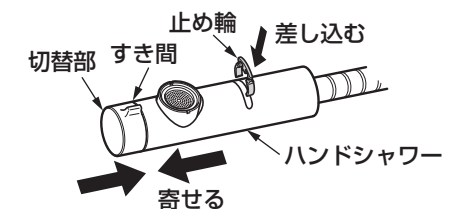
フィルターの向きに注意してください。



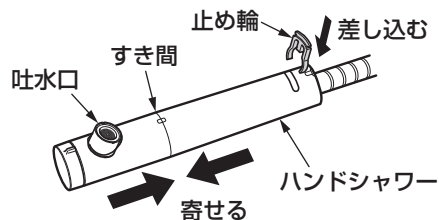
⑧ 止め輪を元の場所に差し込む。

シャワーホースが十分に差し込まれていないと止め輪が取り付けられません。

ハンドシャワーにすき間があると、止め輪が挿入しにくいことがあります。
ハンドシャワーを矢印の方向に寄せて「すき間」をなくすと止め輪は入りやすくなります。



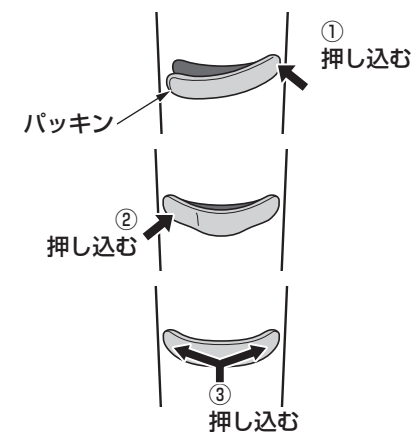
浄水タイプ



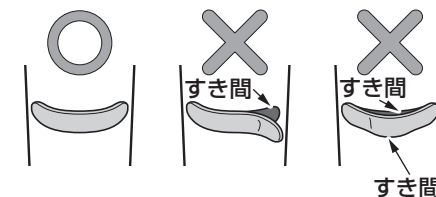
⑨ パッキンをハンドシャワーに差し込む。

パッキンを水にぬらしてから行くと、差し込みやすくなります。

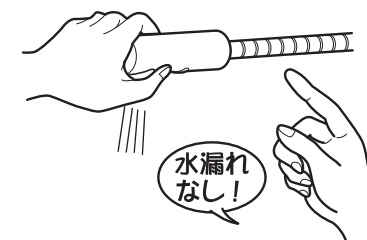
- ① パッキンの片側を押し込む。
- ② 反対側を押し込む。
- ③ 中央部を押し込み、指を左右に滑らせてパッキンを全周確実に差し込む。



ハンドシャワーとパッキンの間にすき間があるとハンドシャワー内部に水が浸入するおそれがあります。



⑩ ハンドシャワーを引き出した状態で水を出し、ホース接続部からの水漏れがないことを確認する。



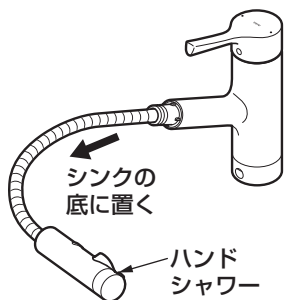
8. 寒冷地用の水抜き方法

凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいてください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

水栓内の水抜き作業を行う前に、配管内の水抜きを必ず行ってください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

重要

下記の手順に従って水栓の水抜きを行ってください。

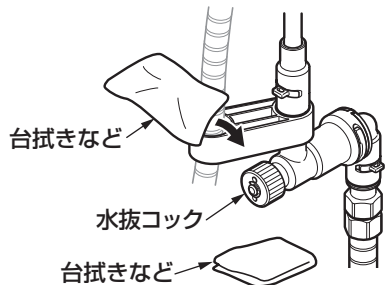


① ハンドシャワーをシンクの底に置く。

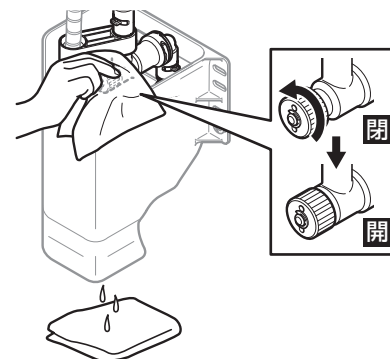


② レバーハンドルを上げ、水側いっぱいにする。

<キャビネット内>



③ 台拭きなどを2枚用意し、1枚を水抜コックにかぶせもう1枚を水抜コックの下にしく。



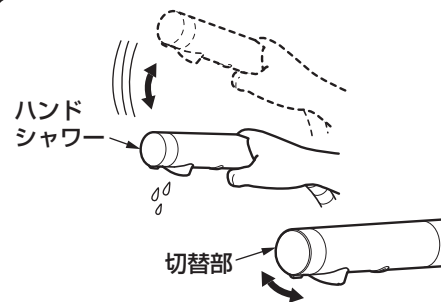
④ かぶせたものの上から水抜コックを開ける。

●水抜コック：1カ所

水抜コック前面から水が出ますので必ず台拭きなどをかぶせてから水抜き作業を行ってください。

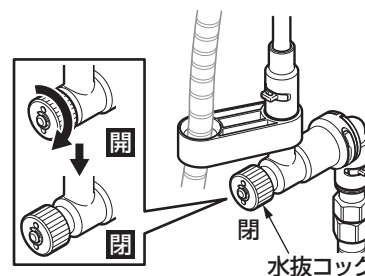


⑤ レバーハンドルを上げたまま湯側いっぱいに戻し、水栓内の水を抜く。



⑥ ホース内の水を抜く。切替部を数回切り替えながらホース内の水を抜く。

ハンドシャワーを下向きにし、よく振って中の水を抜いてください。



⑦ 水が抜けたら、レバーハンドル・水抜コックを閉める。(水抜き完了)

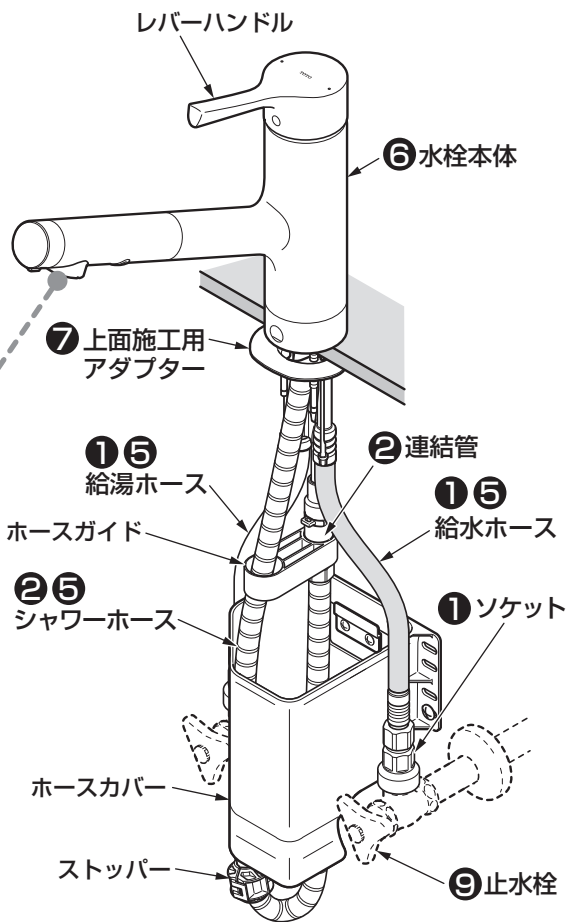
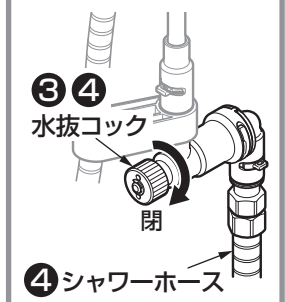
9. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

⑧ 吐水口部



寒冷地用の場合



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 給水・給湯ホースは袋ナットでソケットに確実に接続されていますか？

↳ 6.4-⑤ 給水・給湯ホースの接続 参照

② シャワーホース先端は連結管にしっかり差し込まれていますか？

↳ 6.4-⑥-1 シャワーホースの取り付け 参照

寒冷地用の場合

③ 水抜コックはしっかり閉まっていますか？

↳ 水抜コックを閉める。

④ シャワーホースは、水抜コックにしっかり接続していますか？

↳ 6.5-⑥-2 シャワーホースの取り付け 参照

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

⑧ 吐水口・フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 7-1. ② 吐水口およびフィルターの掃除 参照

⑨ 止水栓は開いていますか？

↳ 7-1. ① 水出し確認 参照

動作確認

ハンドシャワーの動作はスムーズに行えるか確認してください。

⑤ 給水・給湯ホースがシャワーホースを押さえ込んでいませんか？

↳ 6.6. 取り付け後の確認と注意事項 参照

ガタツキの確認

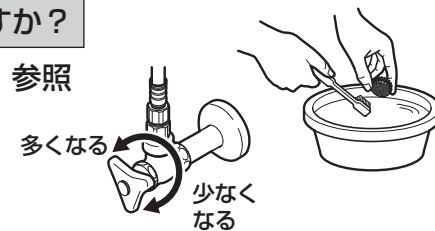
ガタツキがないか確認してください。

⑥ 水栓本体固定ねじのゆるみはないですか？

↳ 6.3-④ 水栓本体の取り付け 参照

⑦ 上面施工用アダプターはしっかり固定されていますか？

↳ 6.2-③ 上面施工用アダプターの取り付け 参照



※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

※ 同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。